

座間市教育委員会 7月定例会会議録

1 開 会 日 令和5年7月25日(火)

2 場 所 座間市役所5階5-1会議室

3 出席委員 教育長 木島 弘
 教育長職務代理者 馬場 悠男 委員 鈴木 義範
 委員 北村 美奈子 委員 有山 周一

4 出席職員 教育部長 安藤 誠 教育総務課長 高木 力
 就学支援課長 野澤 慎 保健給食担当課長 東 真
 教育指導課長 下斗米 淑子 教育研究所長 石田 正行
 生涯学習課長 吉野 芳絵 図書館長 飯田 京子

5 書 記 教育総務係長 佐藤 雄一 教育総務課主事補 岡崎 郁弥

6 開会時刻 午前9時33分

7 案 件

No.	議案番号	議 案 事 項 名	提案説明者	結果
1	36	座間市教育委員会職員の人事について	教育部長	承認
2	37	座間市教育委員会職員の人事について	教育部長	承認
3	38	座間市学校運営協議会委員の任命について	教育指導課長	承認
4	39	令和6年度使用小学校教科用図書の採択について	教育指導課長	承認
5	40	令和6年度使用中学校教科用図書の採択について	教育指導課長	承認
6	41	令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について	教育指導課長	承認

No.	報告番号	報 告 事 項 名	報告者	結果
1	9	県費負担教職員の任用について	就学支援課長	—

8 閉会時刻 正午

木島教育長 それでは、ただいまより座間市教育委員会7月定例会を開会いたします。
お諮りします。ただいま、傍聴受付名簿のとおり委員会傍聴の申し出がありました。
これを許可したいと思います。御異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

木島教育長 御異議なしと認め、これを許可します。

(傍聴人 入室)

木島教育長 お諮りします。会期は今日一日でよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

木島教育長 それでは、会期は7月25日今日一日といたします。

次に、座間市教育委員会会議規則第21条第2項の規定により、会議録署名委員に
北村委員と有山委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

続きまして、教育長報告に移ります。前回の定例会からの経過を報告いたします。

<教育長報告>

木島教育長 6月14日(水)教育委員会定例会、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、北村委員、有山委員出席です。

6月17日(土)夏のおはなし会、教育長見学です。

6月19日(月)いさま会役員会、教育長、教育長職務代理者出席です。

同日、市基地返還等市民連絡協議会役員会、教育長出席です。

同日、教育対談(坂田氏)、教育長出席です。

6月21日(水)市議会第2回定例会 閉会、教育長出席です。

6月22日(木)定例校長会、教育長出席です。

6月23日(金)寄付金受領式(株式会社ハウスメッシュ)、教育長出席です。

6月27日(火)学校訪問C(相模野小学校)、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、北村委員、有山委員出席です。

6月29日(木)市学校施設適正化方針検討委員会、教育長出席です。

同日、市町村教育委員会研究協議会(オンライン)、教育長職務代理者出席です。

6月30日(金)校長研修会、教育長出席です。

7月1日(土) 国際親善大使3期生任命式、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、有山委員出席です。

7月4日(火)「座間・アートの今」展、教育長出席です。

同日、市基地返還等市民連絡協議会定期総会、教育長出席です。

7月5日(水) 市青少年問題協議会、教育長出席です。

7月6日(木) 学校訪問C(相武台東小学校)、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、北村委員、有山委員出席です。

7月7日(金) 相模が丘七夕祭り開会式、教育長出席です。

同日、学校訪問C(入谷小学校)、教育長、鈴木委員、北村委員、有山委員出席です。

7月9日(日) 納涼茶会、教育長出席です。

7月10日(月) 学校訪問C(南中学校)、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、北村委員出席です。

7月11日(火) いさま会定期総会、教育長、教育長職務代理者、北村委員出席です。

7月17日(月) スマーナ市訪問団ウェルカムレセプション、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員出席です。

7月18日(火) 教科用図書採択学習会(～20日)、教育長、教育長職務代理者、鈴木委員、北村委員、有山委員出席です。

木島教育長 以上です。ただいまの経過報告について、御質問等ございますか。

木島教育長 御質問等もないようですので、以上で経過報告を終わります。

次に、本日の案件に移りますが、まずは非公開とする案件についてお諮りします。2ページの議事運営要領を御覧ください。議案第36号から第38号、並びに報告第9号については、人事に関する案件ですので非公開にしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

木島教育長 御異議なしと認め、議案第36号から第38号、並びに報告第9号は非公開といたします。

また、審議の順番については、公開案件の後に非公開案件を行うことといたします。

木島教育長 それでは、議案第39号から第41号は教科用図書採択関係ですので、一括審議とさせていただきます。

議案第39号「令和6年度使用小学校教科用図書の採択について」、説明をお願いいたします。

(下斗米課長 挙手)

木島教育長 下斗米教育指導課長、お願いいたします。

下斗米課長 それでは、10ページをお開きください。

提案理由としましては、令和6年度に座間市立小学校で使用する教科用図書について採択いただきたく提案するものでございます。

なお、補足といたしまして、令和6年度義務教育諸学校で使用する教科用図書に係る「神奈川県教育委員会の採択方針」、令和6年度使用小学校教科用図書の「座間採択地区教科用図書採択方針」、「小学校座間市教科用図書採択検討委員会方針」に基づき、5月17日、7月12日に座間市教科用図書採択検討委員会を開催し、調査員より調査結果の説明を受け、座間市の児童にとって最適な教科書採択に関する検討を慎重、かつ公正に進めてまいりました。教育委員の皆さまには、採択検討委員会等の報告及び質疑を既に行っていることを申し添えます。添付の資料につきましては、事前にお配りしております。既に、皆さまが目を通してくださっておりますので、漏れがないかを御確認していただければ結構です。

説明は、以上でございます。

木島教育長 ありがとうございます。ただいま補足説明にありましたように、私どもはこの教科書採択をするに当たり、事務局から提出された「文部科学省教科書編修趣意書」、「神奈川県教育委員会の調査研究の結果」、「座間市教科用図書調査員の報告」、「学校希望調査の集計」、「採択検討委員会の報告」について事前に目を通し、報告に係る質疑等の学習会を、時間をかけてしっかりと行ってまいりました。このことを審議に入る前に前置きしておきたいと思えます。

なお、採択方法については、会議規則第16条第2項により、4人の教育委員による挙手によって実施したいと存じますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 では、挙手によって得票数の多い教科用図書を採択候補とすることといたします。

また、同票の場合は私、教育長の判断で、採択候補を決めるということによろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは審議に入りたいと思います。先ほどお伝えしましたように、採択検討委員会等の報告及び質疑については既に終えておりますので、ここでは最終の意見ということで、何かありましたら述べていただきたいと思います。

木島教育長 では、始めに国語について行います。教科書を取りに行く委員さんは準備をしてくださりたいと思いますが、机上に国語の準備がされていますね。

それでは、どなたか御意見をお願いしたいと思います。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 私は、3者共通に扱っている「ごんぎつね」の挿絵に注目しました。

光村のごんは可愛くないんです。表情があまりありません。ですが、物語を読み進めていく児童にとっては、可愛いという先入観を与えないということが、ごんの気持ちを考えるという意味でとても大切なことだろうと考えました。光村の挿絵は、シンプルで淡々としていて、この方が「ごんぎつね」に関しては、とても効果的だと思います。

他の2者のごんは可愛いです。ごんが可愛いということで、可哀想だという考えに繋ってしまう可能性があると感じました。この物語で、そうではない挿絵を使っている光村が素晴らしいと考えます。

また、夏休みに入る前に、平和教育で戦争を題材に扱っているものに着目しました。東書と教出も扱っていますが、光村は「ちいちゃんのかげおくり」、「一つの花」、「たずねびと」と、その学年にふさわしい戦争と平和について考えるきっかけとなる教材を扱っています。光村は、非常に真面目に誠実に、夏休みに入る前の子どもたちに、大切なことを考えるきっかけとなる物語を扱っているという印象を持ちました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員の御意見を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 読書活動の推進という視点から、3者とも単元の終わりに関連する本を掲載したり、読書単元を設定したり工夫されていました。光村の「本の世界を広げよう」では、学んだことを活かせるように関連作品が科学や絵本など、様々なジャンルから紹介していました。

また、SDGsの達成に向けて、持続可能な社会について考えることができる本を学年に合わせて紹介していました。子どもたちが本をもっと読んでみようと感じてくれるのではないかと思いますので、とても良いと思いました。

さらに、採択検討委員会や学校希望調査で先生方からも御意見がありました。私も語彙力を豊かにする工夫はとても大切だと思います。東書では「言葉の広場」、教出では「言葉の道具箱」、そして光村では「言葉の宝箱」で生活や学習に必要な語彙がまとめられています。光村の「言葉の宝箱」が各学年に応じて分かりやすくまとめられていると感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員の方はいかがでしょうか。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 私は兼ねがね、国語は文学鑑賞だけでは困ると思っています。いかに分かりやすく、説得力のある実用文を書けるかが、将来、社会生活における活動に関わって、生きていくことに繋がります。ですから、文法的な構成がしっかりしていて、できるだけ易しい言葉で相手に分かりやすい文章を書く。これが大切です。もちろん文学鑑賞も素晴らしいですよ、好きですけども、やはり実用文が大事だと思っています。

そして書く力の向上については、座間市教育大綱にもしっかり掲げられているところ。書く力に関しては、東書は「読むこと」の学びと関連させるとか、教出は他教科や日常生活と関連させるなどそれぞれ工夫が見られました。

しかし、特に光村は、実用文を書くことにもよく気を配っていて、目次でも分かるのですが、書く力が確実に身に付くように、単元配列や系統がしっかり考えられていると感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょうか。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 私は、主体的・対話的に学習に取り組めるか、という視点から見てみました。その中で光村は、児童が学びやすい、入りやすい内容の教材が多いこと、また、目標がしっかり明記されていて、児童自身が学習内容を確認しながら主体的に学べる工夫がされていると思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。4人の委員さんの御意見をいただきましたが、他に御意見はございますか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の3者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いいたします。

結果については私、教育長と馬場教育長職務代理者の2人で確認をしていきたいと思えます。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。0票です。教育出版、0票です。光村図書、4票です。馬場委員、よろしいですか。

馬場委員 はい、間違いありません。

木島教育長 挙手の結果、光村図書が4票ということで、国語は「光村図書」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、国語は「光村図書」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 次に、書写について行いますが、書写の教科書を取りに行く委員さんは準備をお願いいたします。

木島教育長 よろしいでしょうか。
それでは、どなたか御意見をお願いいたします。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 光村ですが、学んだことを生かして、さらに積み重ねていまして、6年生21ページの「書写ブック」というところに、1年生が横書き、2年生が原稿用紙、3年生が手紙、4年生がはがきの表書きというように書写で学んだことが学年ごとに広がり、また学んでいくというのが教科書的に良かったと思います。

光村の最後のページに、この本を作った人からのメッセージや、先生、保護者の方へというメッセージが書いてあり、これはぜひ保護者に読んでいただきたいです。子どもと一緒に書写を学べる良い内容だなと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんの御意見を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 私は、どの教科書も非常に良くできていると思います。甲乙つけがたしという感じですね。その中でも、光村は、書写における姿勢や意識などが分かりやすく、丁寧に書かれておりまして、児童にとって学習に入りやすいと感じました。また、他の教科との繋がりも意識されていると思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の方はいかがでしょうか。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 教出には、世界と日本の、書くことの比較があって、それぞれ色々な文字で、どのように書いているか、例えば右から書くか、左から書くか、横書きか、縦書きかなどの紹介があります。また、それぞれ、どうやって上手く伝えるか、そういうところが非常に面白いと思いました。

しかし、やはり光村は、書写の教科書の中でも、言葉の美しさを味わう教材があります。6年生18ページには、谷川俊太郎の「すこやかに おだやかに しなやかに」の中の「こころの色」という詩が載っていて、その文字がグレーで薄く書いてあります。ここをなぞることによって、書きながら、その詩を味わうことができます。しかも、その中身がさすが谷川俊太郎さん、素晴らしいです。実際には、「私がなにを思ってきたか それがいまの私をつくっている あなたがなにを考えてきたか それがいまのあなたそのもの」、最後に「きれいな色ならきっと幸せ すきとおってればもっと幸せ」、これを書きながら味わうのは、いいですね。やはり、こういう教材を選ぶのが、光村の良いところだと思っています。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見のある方はいますか。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 3年生で初めて習字を学びます。ですから、準備と片付けにとっても時間が掛かってしまうんですね。準備や片付けが分かりやすく教科書に示されていることは、とても大事なことだと考えています。

光村では、大筆や小筆の片付け方も大きく、とても丁寧に示されています。

また、今は、墨汁を使ってしまって、墨を磨ることってほとんどしないんですが、3年生の時は墨を磨るということも経験してほしいなと考えています。

東書の3年生5ページには、墨を磨るときに、円を描くように、というように具体的に磨り方が示されており、とても良いと思いました。

しかし、基本的なことは、教科書の初めにまとめてあるのが望ましいと思います。光村のスタートブックという形で、学年の初めに大事なことがまとめられているのが良いという印象を持ちました。以上です。

木島教育長 その光村のスタートブックというのは、3年生の一番初めですね。

有山委員 12ページまでですね。扱っている文量も多いのかなと思います。

木島教育長 分かりました。ありがとうございます。

他に御意見はございますか。4名の方が意見を述べていただきましたが、さらにある方はおられますか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いいたします。0票です。教育出版、0票です。光村図書、4票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい。

木島教育長 挙手の結果、光村図書が4票ということで、書写は「光村図書」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、書写は「光村図書」を採択候補とすることにいたします。

木島教育長 次に、社会について行いますが、社会の教科書を取りに行く委員さんは準備をお願いいたします。

木島教育長 具体的にもし教科書等を開ける場合は、4人で共通して実際に開けて見て確認をする、という場があっても良いと思いますので、よろしくをお願いいたします。

木島教育長 それでは準備ができましたので、社会について行いたいと思います。まず、どなたか御意見をお願いいたします。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 教出は、イラストや写真等が見やすく、また、学習の目当て、展開も分かりやすく、児童にとって学びやすい主体的・対話的な学習に取り組める構成となっていました。

また、6年生の歴史の分野で使用している写真、白黒写真をA Iでカラー化したものを掲載しているのですが、例えば、6年生204ページ、近年カラー化した写真が様々な場面で使われている場合が多くてですね、当時の臨場感をより味わうことができると考えます。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員の御意見を求めたいと思います。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 私は人類学の研究者なので、社会の教科に関して申し上げたいことがあります。というのは、よく日本人は単一民族だって誤解されていますが、実際は、北海道のアイヌの人々、本土日本人、沖縄及びその付近の琉球人、という3つの民族集団が日本に住んでいます。そのような背景から、例えば、アイヌの人々の尊厳を守るようなことは、3者ともある程度は扱われていますが、教出は、5年生58、59ページで「自然とともに生きる人々の暮らし」としてアイヌの人々を取り上げています。そういうことが大事だと思います。また、6年生21ページ、あるいは73ページでも取り上げています。

そして、私たち本土日本人が、かつてアイヌの人々、あるいは琉球人に対して、圧迫したり、差別したり、収奪したりという非常に残念な歴史があります。

そういうことをきちんと認識するために、アイヌあるいは琉球人の歴史が教科書で十分に説明されていることが必要だと思います。

「基本的人権」や「多文化共生」という観点から、あるいは全ての人々が平等に、幸せに生きるため、そういう観点からも、子どもの時からきちんと理解されていなければならない、と思っています。その点で、教出が、圧倒的によく書かれています。

さらに、調査員や先生方からの意見にあったように、教出では「学習のめあて」や「次につなげよう」がいつも同じ位置にあるんですね。視覚的に分かりやすく、問いが繋がっていく点が非常に良くできていると感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の方はいかがでしょうか。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 社会科は3年生から学習が始まります。ですから、子どもたちが興味関心をもって学習を進めていくためには、やはり身近な教材を扱っていくことがとても大切なことだと考えています。

神奈川県に住んでいる私たちは、神奈川県の内容について扱われていれば、当然そこに興味関心が湧いてくると思います。そういう意味で教出は、神奈川県に関連したものを非常に多く扱っています。ここはとても評価される場所だと考えます。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 社会は内容量がありますので、1冊ではとても重いですが、東書は5年生と6年生が分冊になっているので、子どもの負担軽減になると思いました。

あと災害については、「自助・共助・公助」などについてしっかり考えられているようになっていまして、どの教科書もとても工夫されていると感じました。

その中で教出は、社会で活躍している色々な人のインタビューなどが載っていて、子どもたちに響くものがあると思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見はございますか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の3者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで、挙手をお願いいたします。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。0票です。教育出版、4票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、結構です。

木島教育長 挙手の結果、教育出版が4票ということで、社会は「教育出版」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、社会は「教育出版」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 次に、地図について行いますが、地図の教科書等準備をお願いいたします。

木島教育長 それでは、どなたか御意見ををお願いいたします。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 2者ともとても中身が良くて、素晴らしいと思いましたが、帝国は、地図が平面だけではなくて、高低差が分かるような、立体的に表現されたものがありました。色々なタイプの地図を用意しているところが素晴らしいと思いました。児童の発達段階に応じて、必要な地図を選べるところが帝国の地図の良いところです。

また、子どもたちは、地図を見ているとそこに行ったような気持ちになります。地図を見るというのはとても楽しいことだと思います。帝国の69ページには江戸時代の古い江戸の様子ですね、今の東京ですが、地図が載っていました。児童が興味を持

って楽しく地図帳に親しめるという意味では、とても素晴らしいと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんの御意見を求めたいと思いますがいかがでしょうか。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 2者を比較しまして、帝国はイラストやグラフ、その色合いから児童にとって見やすい、分かりやすい地図に仕上がっています。児童や父兄に特に関心の高い自然災害については、東書は97ページ、帝国書院は99ページにプレートが分かる地図がありますが、帝国がすっきりしていて分かりやすいと思いました。情報量の関係もあるのですが、特にすっきりしたものが見やすいのではないかという思いですね。

それと表紙を見ていただきたいのですが、帝国は、4年間子どもたちが激しく使う、そういう使用にも耐えうる材質の紙が使われているのかと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員の方はいかがでしょうか。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 2者とも社会の教科以外でも活用できるのがとても良いと思いました。

また、東書の75、76ページ、それから帝国の107、108ページに日本の貿易に関することが書かれていますが、帝国には、日本と世界の食糧問題についても書かれているのが、とても興味深いと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見がある委員さんはおられますか。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 帝国は、包括的に上手く扱っていると思います。特に、アメリカ合衆国に関して見てみました。例えば、93、94ページで、アメリカ合衆国の州別の綺麗な地図がありますが、それぞれの州で、私たちにも関心があるような色々な文化的なこと、あるいは自然の生き物、歴史などがイラストにされ、私たちとアメリカがどういう関係にあったかということまで含めて上手く伝えているのは非常に良いと思いました。

なお、どちらも地図帳だけでなく、防災なども掲載されていて、資料集としても利用できると思いました。情報量としては、帝国がとても充実していると感じました。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見はありますか。

実際に地図帳を小学校で使っていた有山委員は、プラス何かありますか。

有山委員 全然昔と違っていますので、私が担任していた頃と比べても、中身が各者とも充実していて、授業中で使う頻度が高まっているんだらうな、という感想を持ちました。

木島教育長 ありがとうございます。それでは他に意見がないようですので、候補を決めてまいります。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の2者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いいたします。0票です。帝国書院、4票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、間違いありません。

木島教育長 挙手の結果、帝国書院が4票ということで、地図は「帝国書院」を候補としてよろ

しいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、地図は「帝国書院」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 次に、算数について行いますので、準備を進めてください。

木島教育長 それでは、どなたか御意見をお願いいたします。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 馬場委員お願いいたします。

馬場委員 私は中学への接続ということに着目しました。全者とも中学校への接続は意識していて、しっかりページが割かれています。その中でも学図は、別冊で扱っています。これはなかなか良いと思いました。

東書は、6年生220ページで、「算数 卒業旅行」というので、中学校体験入学コース、国際コース、和算コース、クイズ・パズルコース、と色々あって、世界の計算方法などの発展的な課題も盛り込まれ、話題が豊富で、楽しく学べるように工夫されていました。

ということで、全体に充実しているのは、東書だと感じました。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員の御意見を求めたいと思います。いかがでしょうか。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 6者を比べまして、私も東書が良いと思いました。見開きで問題がありまして、ヒントや解答は、ページを捲らないと出てこない作りになっています。答えがすぐに書いている教科書では、児童の考える力は付きにくいですから、考える力を育むためには、答えを書きすぎない教科書が良いと思います。

そういった点も含めて、東書は、誰もが理解しながら学習を進めていくための工夫があつて、児童にとって授業に入りやすく、主体的な学びができるのではないかと思います。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんはいかがでしょう。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 ノートの作り方、というところに注目しました。今、ノートの作り方について書かれている教科書がとても多くあります。

その中で、東書と大日本については、間違えて書いてしまった、答えてしまったところを消しゴムで消さないで、二本線で書きましようとして示されています。

ノートは自分の学びの足跡になりますので、どこを間違えてしまったかということが、あとで分かるというノートの取り方はとても大切なことだろうと考えます。

ですので、自分の学びを振り返ることができ、本当に理解できるまで学習が積み重なっていく、ということが出来るノートの取り方を示している教科書が良かったと考えます。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 私も東書が良いと思いました。6年生6ページ、マイノートをつくろう、と有山委員もおっしゃったのですが、ノートの作り方ということで、間違えたところを消しゴムを使わないで二重線で消すとか、気を付けることや、学習中に気付いたことを吹き出しに書く、という例もとても良いと思いました。楽しくノート作りができるような例だと思います。

また、5年生まで2冊になっていることは、軽量化という点で子どもたちへの負担が少なく良いと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見ございますか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の6者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いいたします。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。全員、4票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、結構です。

木島教育長 挙手の結果、東京書籍が4票ということで、算数は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、算数は「東京書籍」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 次に、理科について行いますので、準備をしてください。

木島教育長 よろしいでしょうか。
どなたか御意見をお願いいたします。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 甲乙つけがたしなのですが、教出は「川と災害」で、災害に対する学習をしっかりと行うようになっていきます。他者よりもページを割きながら詳しく扱っていました。
東書は、児童の想像力を働かせて観察や実験を行わせ、それから発展的にも展開できるように内容が充実していると思います。

また、「レッツトライ」とか、「次の問題を見つけよう」などで児童の興味関心を引く工夫もありました。

全体的に見ると東書が良いと思いました。以上です。

木島教育長 鈴木委員、教出の「川と災害」は何ページ辺りですかね。

鈴木委員 5年生122ページから続いています。近年、川の災害というのはすごく叫ばれているし、児童の関心も高いので、詳しくこういう風にやっているということは、非常に児童のためになるのでは、と考えます。

また、座間は昔から相模川が暴れ川として有名で、川の災害が、長い間座間の住民を悩ませていたということもありまして、川の災害を非常に関心を持ってやっていたというのは良かったと思います。

木島教育長 ありがとうございます。教育出版の122ページからということですね。

木島教育長 それでは、他の委員さんに御意見を求めたいと思います。

北村委員 教出の安全への意識がとても良いと思いました。3年生から6年生の教科書全部なんですけど、教科書の裏表紙です。こちらに実験のときに見やすい点や、注意点などがとても具体的に分かりやすく書いてありますので、そちらがとても良いと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんお願いします。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 全者、それぞれ工夫されていますが、教出で気になったことがあります。6年生42ページから45ページの実物大の人の体の中の様子、前面と後面が描かれています。このように、子どもの体のサイズに合わせて、内臓や血管などがよく分かるようになっているので、子どもが自分の体に当てて、あるいは友達の体に当てて、この辺に腎臓があるとか、話ができ、それはとても良いと思います。

ただ、この図が、いくら大雑把な模式図だと言っても、解剖学的にかなりいい加減

なのは困ったもので、この話を4年前に申し上げたつもりですが、全然直っていません。

例えば、動脈や静脈を見ても、そもそも同じところを走っていても太さが違う。これは同じ量で流れていても、流速が違うからなんです。また、血圧の関係で、血管の壁の厚さが違います。食道も、パイプのように書いてありますが、食道の上部は、消防のホースみたいに普段は潰れています。食物を呑み込んだときにだけ、膨らむ構造になっています。

そういう基本的なことを無視して、ただ管が通ってればいいとか、ここに腎臓があればいいという描きぶりなので、困ります。専門家の監修をぜひ、お願いしたいと思います。

そして、私が良いと思うのは東京書籍です。解剖学的にも適切です。6年生65ページでは、どういう生き物を、どういう生き物が食べて、また他の生き物が食べてという食物連鎖が、4種類に渡って、それぞれ写真で示してあり、色々な食物連鎖があるんだということが分かりやすくなっています。これは非常に良いと思いました。その他、問いが具体的であり学習の流れが一定なことも良いと思いました。ということで、東書です。以上。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他に御意見はございますか。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 東書はですね、6年生174ページ、「地球に生きる」という単元が、他の教科書と比べて、詳しくて良いと思いました。みんなで話し合う学習の流れや、まとめの文章に「理科で学んだことが生かされている」とあり、小学校の学びの締めくくりにふさわしい文章だと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他にいかがでしょうか。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 私は東書が良いなと思いました。東書は「問題をつかもう」という問いかけのところが、必ず右ページの下に書かれているんですね。学習の流れが決まっていることで、子どもたちにとって分かりやすく、かつ学びやすいと思いました。実験や観察をする前に、すぐに答えが分かるのではなく、同じ見開きにあるのではなくて、必ず捲らなければ分からない構造が良いと思いました。

また、単元のまとめのところなのですが、全ての漢字にふりがなが振ってあります。6年生でも「山」とか「川」とか「中」という漢字でさえ、読み仮名が振ってあるんですね。まとめという大事な場面で、漢字に躓くことなく、全ての児童が理解できるようにしているところが優れているなと感じました。

私はこの3月まで、国際教室の担当をしていましたが、国際教室に通ってくる子どもたちの多くは、漢字に躓いていました。漢字がクリアできれば、つまり平仮名で全部書いてあれば、算数も理科も分かるんですね。だけど、漢字が読めないために、躓いている子を多く見てきましたので、この配慮は何気ないことですが、そういう子にとってすごく良い配慮だなと感じました。

また、実験をする際に、危険に関わる注意時点、注意事項が、東書ではとても目立つ色で児童に危険を促すような形でね、早く気が付いてもらうような形で掲示してあるところが素晴らしいと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見はございますか。4名の方に御意見を言っていたんですが、よろしいでしょうか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の6者の中から決めていきたいと思います。ただし、信州教育出版については、見本本が関東地方に届かないため除きます。

そのため、ほかの5者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手を願います。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いします。全員、4票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、結構です。

木島教育長 挙手の結果、東京書籍が4票ということで、理科は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、理科は「東京書籍」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 お疲れではないですか。もう少し進めさせていただきたいと思います。それでは、生活の準備をお願いいたします。

木島教育長 よろしいでしょうか。どなたか御意見をお願いいたします。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 まず、多文化共生など多様性の観点で各教科書を見ました。どの教科書も配慮はされていますが、東書では、具体的に名前を持っている登場人物の子どもたちの扱いが適切です。この「生活上」の表紙の裏のところですか。そこの下部に、子どもたちの顔と名前が全部載っています。そして、色々な出身を持つ子どもであることが、すぐに分かるように描いてあります。さらに、その後続くのページの下部がカットされていますので、何ページ捲っても、この子どもたちの顔と名前を見ることができます。このような扱いは非常に良いと思いました。

また、全体的に写真が美しいという点、あるいは見開き 2 ページごとに学習が進められる点で、そつなくまとまっています。全体として東書が良いと感じています。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんの御意見を求めたいと思います。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 どの生活の教科書も、写真がとても美しく扱われていて良いなと思いました。

その中でも私は、啓林館の写真が大きく、美しく、良いと思いました。啓林館は、特にどんぐりの写真が豊富に載っているところがとても良いですね。

どんぐりの扱いでは、学図の教科書は、どんぐりの実と、その実の葉っぱがセットで載っているところがすごく良いと思いました。

他にも、啓林館の良いところがあります。教科書の初めに、「保護者のみなさまへ」というところがあるんですが、その中で「子どもたちが、「明日も学校に行きたい」という意欲を高められるようにしています。」という文が、とても教科書の作り手の温かみを感じて良いなと感じました。それから、啓林館の教科書の中のイラストなんですけど、出てくる教師が膝を曲げて子どもと話していたり、教室の中でも、子ども目の高さにしゃがんで語りかけるなど、教師の手本になるようなイラストになっているなと思いました。

また、教師の吹き出しも多く扱っているんですが、その吹き出しに「どうして～なの？」などのセリフがあって、授業内の発問の手本になるような、これも教師にとって授業作りのヒントになることが書かれていると感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。これは具体的なページで言うと、膝が折れているとか、子どもの目線になっているとか、どんなところに書かれていますか。

有山委員 数多く扱われているんですが、例えば、1年生上の31ページですね。あさがおの観察をしている男の子に、女の先生が体を屈めて話しかけていますね。その次、32

ページも同じですね。38ページにも同じく。逆に言うと、先生が登場するシーンでは、必ずといってもいいほど、教師は子どもの目線に合わせている。特に若い先生は、こういう風にするんだな、と気付きにもなるなと思います。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の方はいかがでしょうか。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 私は東書が良いと思いました。東書は、巻末の「ほんとうのおおきさ いきものずかん」にはですね、植物などが実際の大きさに描かれているので、実物と比べられることで、子どもにとって分かりやすさと比較する楽しさがあるのではないかと。

また初めにはですね、「がっこうせいかつすたあと」がありまして、学校で行われる授業と結び付けており、学習に入りやすいと思いました。巻末を見ていただければと思います。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょうか。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 私も東書の図鑑は、とても良いと思いました。東書は、「保護者の皆様へ」が裏表紙に書かれていまして、生活という教科は家庭とともにあると改めて感じる文面でした。

光村の図鑑もとても使いやすいと思います。後ろにあるのですが、取り外せるようになっておりますし、汚れても大丈夫な紙質になっていること、特に、花が咲く様子を種から順に載せている写真がとても良いと思いました。

また、「保護者の皆様へ」は単元の色々なところに書いてあるのですが、狙いだけでなく、「励ましてあげてください」や「一緒に話してあげてください」など温かな言葉かけが書かれていて、とても素敵だなと感じました。

あと、ヨシタケさんのイラストも親しみやすく良いと思います。

以上の点から、私は光村が良いと思います。

木島教育長 ありがとうございます。たくさん御意見を出していただきましたが、他に御意見がある方はございますか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の7者の中から決めていきたいと思います。ただし、理科と同様、信州教育出版については、見本本が関東地方に届かないため除かせていただきます。

そのため、ほか6者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いいたします。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いいたします。2票です。大日本図書、0票です。学校図書、0票です。教育出版、0票です。光村図書、1票です。啓林館、1票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、間違いありません。

木島教育長 挙手の結果、東京書籍が2票、光村図書が1票、啓林館が1票ということで、生活は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、生活は「東京書籍」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 次に、音楽について行いますので、準備をお願いいたします。

木島教育長 それでは準備が整ったようですので、始めたいと思います。どなたか御意見を
お願いいたします。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 私は教芸が良いと思います。タンギングの扱いについて着目しました。

教出は、1年生34ページ、鍵盤ハーモニカのところなんですけれども、タンギングとは書いていませんが扱っています。また、3年生21ページ、こちらには言葉で説明がありました。

ただ教芸は、3年生24ページにリコーダーのタンギングについて、息や舌の使い方など、詳しく丁寧に書かれていまして、リコーダーの苦手な子どもにも配慮されていると思いました。

また、両者とも英語の歌を扱っていまして、英語について楽しく、親しみやすく学べるところが良いと思いました。

世界の国々の音楽についても書かれていることも良いと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんの御意見を求めたいと思います。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 私は教出が良いと思います。両者の1年生の教科書に出てくる、休符の扱いに着目しました。

教出の1年生15ページから休符が白い四角で表現されています。この白い四角

の休符は、2年生で休符の記号を学習するまで続きます。

一方教芸は、1年生18ページに休符が出てきます。この表現は、白丸の点線です。しかし、1年生39ページでは、突如として小さな黒丸に変わっているんですね。音楽が苦手な児童にとっては、これは戸惑うかもしれません。

また、教出も教芸も同じなのですが、最後のページに「君が代」の扱いがあります。教出は全学年が共通して日本の平和と世界の平和についての補足説明が付いています。これに対して教芸は、日本の平和についての説明はありますが、世界の平和についての記述は5、6年生までありません。

それから、教出は全学年で「さんぽ」という曲を扱っています。全学年で同じ曲を扱うことで、全校合唱につなげることができますし、仲間と音楽を楽しむ良さを感じられるような作りになっていると感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 正直言って、私、音楽の才能がないので、自信がありません。でもどちらかというと、鍵盤ハーモニカやリコーダーなどの楽器が苦手な人に対して説明するという点では、教出が多少分かりやすいのかな、という感想を持ちました。

また、「音楽を表すいろいろな言葉」が教出にはありまして、音楽の感じを表す例を上手くまとめてくれて、分かりやすいかなと思いました。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんはございますか。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 私も教出が良いと思いました。特に、各学年の曲をイメージさせるダイナミックな

写真が素晴らしいと思いました。6年生10ページ、すごく綺麗で素晴らしいと思いました。

教芸も良い写真があるんですが、「見つける・考える・歌う」といった問いかけもありまして、工夫が見られるんですが、ページ全体に情報が多いと思いました。

教出は、歌詞と写真のみのページもありまして、大きな写真で感性に響かせるような工夫があると思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他に委員さんで御意見ございますか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の2者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いいたします。

木島教育長 それでは、教育出版が良いと思う方、挙手をお願いいたします。3票です。教育芸術社、1票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、結構です。

木島教育長 挙手の結果、教育出版が3票、教育芸術社が1票ということで、音楽は「教育出版」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、音楽は「教育出版」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 10分ほど休憩したいと思いますが、よろしいでしょうか。

木島教育長 11時5分から再開したいと思います。
その間に、次の図画工作の準備もお願いいたします。

(休憩)

木島教育長 再開いたします。

図画工作について行います。どなたか御意見をお願いいたします。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 馬場委員お願いいたします。

馬場委員 開隆堂では、それぞれの学年で、1、2年生でしたら「わくわくするね」とか、3、4年生には「できたらいいな」とか、最後5、6年生には「つながる思い」など、いかにも子どもたちの心に寄り添い、なおかつ躍るようなタイトルが付けられ素晴らしいと思います。

それから、開隆堂は、「小さな美術館」として、絵がいくつもまとまって載っています。その大きさが適当で、割とオーソドックスな選び方なんですけど、それによって絵の理解が深まり、鑑賞する心が育っていく、という点で開隆堂が良いと思っています。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんの御意見を求めたいと思います。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 3年生から自分の絵の具を使い始めるんですね。それまでは共同絵の具という形で、準備や片付けは先生がするのかなと思いますけど、実は習字と同じように、絵の具も準備と片付けがとても大変です。絵の具やその他の道具の使い方などの説明について、着目してみました。

これは、どの教科書も甲乙つけがたい、とても丁寧に説明されていて素晴らしいと思いました。

しかし、開隆堂は道具の使い方や左利きの説明など、とても丁寧に扱われていて、それは良い配慮だと感じました。

一般的に芸術作品、子どもたちの作品を評価するのはとても難しいことだと思いますが、日文は、評価の観点が明確に示されているところは、とても良いと感じました。

また、日文は、図工体操がどの学年も載っていて、授業の始めに行うことで、子どもたちの気持ちを切り替えたり、心を落ち着かせたりして、創作活動に臨めるような工夫がされているところが良いなと感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 開隆堂は、ページ下に「あわせて学ぼう」というところがあるのですが、他の教科と関連付けて学べるところがとても良いと思いました。

また、日文は、「材料と用具のひきだし」というページが後ろに載ってまして、そちらで例えば1、2年生下の60ページには、ダンボールの特徴やカッターナイフの使い方などを丁寧に説明していました。

また、「友だちと作品を見て話そう」では、3、4年生上の54ページに、実際に作ったものを色々な角度から見たり、写真を撮ったり、画面上に並べて見たりするなど、作品の見方が示されていて、鑑賞の勉強の際にはとても効果的だと感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんはいかがでしょう。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 日文は、作品がたくさん掲載されていて、それぞれに解説が付いており、そこからいろいろ想像することで、学習意欲を掻き立てることができる作りになっているところが良いと思います。作品を見ることはすごく大切なことだと思うので、各学年に様々な作品が載っていて、発想力を刺激するような、こういう扱いは良いなと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見はございますか。

木島教育長 それでは意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の2者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

木島教育長 それでは、開隆堂出版が良いと思う方、挙手をお願いします。1票です。日本文教出版、3票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、間違いありません。

木島教育長 挙手の結果、開隆堂出版が1票、日本文教出版が3票ということで、図画工作は「日本文教出版」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、図画工作は「日本文教出版」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 次に、家庭について行いますので、準備をお願いいたします。

木島教育長 それでは、行いたいと思います。どなたか御意見ををお願いします。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 まず東書は、包丁の使い方や、針と糸で布を縫う場面など、実物大の写真を使ってすっきり、分かりやすく示しているところが良いと思いました。ミシンの扱いでも東書は、一連の流れの中と、さらに巻末にも示されており、とても見やすく、分かりやすい作りになっていました。また、アイロンのかけ方や布の止め方、玉止め、ボタンの付け方などが、巻末で一つにまとまっている点も使いやすかったです。

開隆堂の60、61ページにある買い物の仕方ですが、フローチャートになってい

て、自分で選択しながら、具体的に疑似体験ができるようになっているところがとても良いと感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんの御意見を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 開隆堂も東書も良くできていますが、東書の「家庭生活を通じて、自分が成長する過程を記録すること」、例えば5、6年生134ページを御覧いただくと、「生活の課題と実践」というところで「生活を変えるチャンス!」、これが良いと思います。具体的に生活を変えるチャンスは、大人でもなかなか実行できません。しかし、普段の家庭の学習の中で学んだことを通じて、実際にやってみよう、というのは子ども向けではなくて、大人向けにも良いかもしれません。という点で、私は東書を推したいと思います。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 私も東書を選んだのですが、東書は初めのページにですね、「家庭科はあなたの生活をよりよく変えていく教科です」と謳っていますが、この言葉は子どもたちが学習に入りやすいのではないかと思います。

また、これからの時代を生きていく子どもたちが、SDGsについて学ぶことは必要であると思っています。開隆堂にも記載はありますが、東書は43ページにSDGsを大きく取り上げており、より深く学ぶことができるところが良いと思います。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 調理実習に関しまして、開隆堂は水から茹でたほうがいいのか、お湯から茹でたほうがいいのかという、あとは過熱時間によっての変化などの写真が付いていて、これからの調理の参考になるものが載っている点は良いところだと思います。

また東書ですが、84ページに「朝食から健康な一日の生活を」という單元なんですけど、朝食の役割を示しておきまして、朝食をとらない子どもが多くなっている今、朝食の大切さを様々な角度から丁寧に伝えていると思います。また、健康な生活を送るために、どれだけ朝食をとることが大切か、朝食前後の体の表面温度を表示したり、朝食を食べる頻度と体調の変化を示したりと、目に見える資料を用いつつ、毎日健康に活動するために、朝食をとることが大切だと伝えているところがとても良いと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。4名の意見が出ましたが、他に御意見はありませんか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の2者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いします。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いいたします。全員、4票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、結構です。

木島教育長 挙手の結果、東京書籍が4票ということで、家庭は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、家庭は「東京書籍」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 次に、保健について行いますので、準備をお願いいたします。

木島教育長 よろしいでしょうか。

どなたか御意見をお願いいたします。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 私は6者の中で、学研が分量と見やすさから良いなと思いました。

3、4年生の表紙の次に、「健康って、どんなこと？」という問いかけから始まりまして、「病気でも、体に不自由なところがあっても、一生懸命に、生き生きとしている人がいるよね。」といった文章がありまして、健康とは何かを多面的に考えるような問いかけになっております。

また、学習の進め方が3段階で分かりやすくですね、身近なところからの導入と、話し合いを通じて理解を深めるという流れがあるのも良いんじゃないかと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんの御意見を求めたいと思います。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 私も学研が良いと思います。特に、薬物乱用の記事について注目いたしました。

小学生もインターネットなどで情報を得ることが多くて、薬物乱用の事案が低年齢化していると聞きます。ということなので、どの教科書も薬物乱用について書いてあります。その中で、学研は特に詳しく、5、6年生74、75ページでは「麻薬・シンナー・覚せい剤 ダメ。ゼツタイ。」という大きなのぼり旗を持っていて、子どもたちが自分で考えて自分で記入する、という方法が取られています。具体的な内容でしっかり学べるし、イラストも豊富です。例えば77ページのところでは、痩せる薬

だと言われて、女の子がそれを服用してしまう、そんなまさかと思うような例も書かれています。

大日本は、5、6年生64ページにそういうことがよく載っていきまして、例えば勧められた場合にどうやって断ればいいのか、具体的な例があった上で、自分だったらこうやって断るということを書かせます。そのような点では、大日本図書もなかなか良いと思います。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんはいかがでしょう。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 私も学研が良いと思います。5、6年生21ページに「思春期はだれもがなやむもの」というところが、具体的に丁寧に書かれていて良いと思いました。

また、「プチ」というちょっとした情報があるのもとても良いと思いました。例えば3、4年生13ページに睡眠時間が減っていることが書かれていたり、学習に関連してちょっとしたことが載っていて、児童が興味を持って読みたくなることが書いてあり、とても良いと思いました。

また3、4年生45ページ、性の多様性について書かれています。こちらも子どもの多様性に配慮があって良いと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんはいかがでしょう。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 私も学研が良いと思います。先ほど北村委員が言っていたとおり、「思春期はだれもがなやむもの」に関連しますが、5、6年生19ページ、相談窓口の中に、保健室の先生や学校、スクールカウンセラー、地域と、まず身近なところに窓口が書いてあるところは、子どもたちにとって相談しやすく良いと思いました。

特に学研は、学校の先生と保健室の先生を分けて、相談する対象をさらに具体的に示しているところが、子どもにとっては丁寧だなと感じました。

また、保健の学習では、子どもたちは保健のノートを特別作ることがないので、教

科書に書き込むことがとても大切なことになると思います。その点で、教科書の紙質がとても大事な要素になってきます。鉛筆で書きやすいということも大事ですが、間違えたところを綺麗に消せるということも、とても大切なことだと思っています。その視点でも検討させていただきました。

木島教育長 ありがとうございます。他はよろしいでしょうか。

木島教育長 御意見がなさそうですので、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の6者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いいたします。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いいたします。0票です。大日本図書、0票です。大修館書店、0票です。文教社、0票です。光文書院、0票です。学研、全員、4票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、間違いありません。

木島教育長 挙手の結果、学研が4票ということで、保健は「学研」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、保健は「学研」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 それでは、英語の準備を進めていただきたいと思います。

木島教育長 よろしいでしょうか。

どなたか御意見をお願いいたします。

(北村委員 挙手)

木島教育長 北村委員お願いいたします。

北村委員 私は、東書と三省堂が良いと思いました。

三省堂は、「世界のおはなし」ですね、5年生39ページ、みんながよく分かっている「北風と太陽」という話が載っていたりですとか、ところどころにゲームがあったり、「日本、大発見」という日本の名所当てクイズがあったりと、英語が苦手だと感じさせない学習の工夫があると思いました。また、「マイディクショナリー」という別冊がありまして、こちらにはセンテンスが載っているのもとても良いと思いました。

東書にも「マイピクチャーディクショナリー」があり、こちらも多く単語や、3年生から6年生まで学習したセンテンスがまとめられていまして、使いやすいと感じました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんの御意見を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 今回の北村委員の「マイピクチャーディクショナリー」に関して、少し追加です。直接イラストから英語に結び付けている工夫、つまり日本語を介さないで理解できるというのは、やはりこれからの英語教育を発展させる中で、非常に望まれることではないかと思っています。その点で、東書が良いと思います。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 私も北村委員、馬場委員と同じようになってしまいますが、東書の「マイピクチャーディクショナリー」が非常に良いと思いました。

小学生の英語はやはり、会話、話すことが大切であると思うのですが、初めてのページに書いてありますように、英語で会話を広げることができるツールとして、この別冊はすごく役に立つのではないかなと思いました。大人も使えますね。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんはいかがでしょう。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 私、もう一回いいですか。

東書は、実際に子どもたちに英語を書かせるということが、早い段階から、言わば前倒しのような形で導入されているのが目に着きました。例えば、5年生12ページで、まだアルファベットの書き方を習ってはいないのですが、早めに自分の名前を大文字で丁寧に書かせて、これから先、英語をしっかりとやっていくという自覚を持たせようとしているのだろうと思いました。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他にはいかがでしょう。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 私は、英語を学ぶ楽しさや英語を学ぶ必然性があるかどうか、という視点で考えました。

開隆堂は、「ポインティング・ゲーム」や「ミッシングゲーム」、「スリー・ヒント・

クイズ」など、様々なゲームを使いながら、楽しく活発な活動ができる工夫が散りばめられていました。

また、アルファベットの大文字や小文字の練習にスペースを大きく使っているところも良いと思いました。この点では、東書も同じく練習スペースがしっかりあって良いと思い感じました。

さらに東書は、英語とローマ字について上手に扱っている点、例えば「ことば探検」では、ローマ字と英語で書かれた日本の地名を英語で読むとどうなるかと比べているところがあり、この違いが分かりやすく、とても良いと感じました。

また、5年生48ページにあるように、「アクセントに慣れ親しもう」が、英語らしい発音に気付けるような学びがあるのもとても良い点だと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見ございますか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の6者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いいたします。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いいたします。全員、4票です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、大丈夫です。

木島教育長 挙手の結果、東京書籍が4票ということで、英語は「東京書籍」を候補としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、英語は「東京書籍」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 それでは、最後になりましたが、道徳の準備をお願いいたします。

木島教育長 よろしいでしょうか。
どなたか御意見ををお願いいたします。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 私は光村が良いと思います。光村は、人間の心の弱さに寄り添っていく、それ故、人間の力を信じている、という道徳の大切な部分に迫る問いが多くあるところが良いと感じました。

例えば、2年生の「およげないりすさん」という教材があります。ここでは、「分かっているのにできなくなるのは、どんなときかな。」という問いがあり、人間の弱さを認めて寄り添っている問いかけが記載されています。この「およげないりすさん」は他の教科書でも扱っていますが、こういった問いは光村ならではの思いました。

問いに着目したときに、教出の2年生の「みほちゃんと、となりのせきのますだくん」という教材は、「自分がますだくんの立場だったら、このあとどうしますか」とあり、子どもたちに多面的・多角的に考えさせるような発問があり、これも良いと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。それでは、他の委員さんの御意見を求めたいと思います。

(馬場委員 挙手)

木島教育長 それでは、馬場委員お願いいたします。

馬場委員 私も光村が良いと思います。光村は、全体として心の葛藤を含んだ教材が多いようです。そこが良いと思います。

例えば、6年生47ページを見ていただけますか。「この胸の痛みを」という教材

ですが、自分も相手も胸の痛みを感じていて、それぞれの立場について考えさせ、分かち合うという学習の流れが良いと思いました。全体としても教材の設定が良いので、児童の学びが深まると思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他はいかがでしょう。

(鈴木委員 挙手)

木島教育長 それでは、鈴木委員お願いいたします。

鈴木委員 私は光文が良いと思いました。光文は、豊かな心を育むために、日常の生活から問いを見つけて、見つけた問いを考え、学びを広げるといった学習の流れで構成されているところが非常に良いと思いました。

また、本市の「豊かな心を育むひまわりプラン」にも関連して、他者と分かち合いながら、自分らしく、たくましく、より良く生きようとする心が育つことの一端を担える教科書ではないかと思いました。

さらに、全体的に神奈川県教材が多いところは、子どもが身近に感じられるという点で魅力的であると思います。

木島教育長 ありがとうございます。他の委員さんはいかがでしょう。

(北村委員 挙手)

木島教育長 それでは、北村委員お願いいたします。

北村委員 私も光文が良いと思います。全者とも1年生の初めで、挨拶についての扱いがありまして、明るい挨拶や顔を見るなどの工夫はありますけれども、光文では1年生14ページ、「あいさつにひとことつけて」とあり、挨拶から会話が広がるようなコミュニケーションの第一歩として扱われているのが、とても具体的で良いと思いました。

また、6年生98、99ページ、「いろいろな人と共に生きるために」では、中学校の制服が性別を超えて選べることなどについての記載がありました。多様性への

配慮があると思いました。

さらに、最後に「ことばのたからもの」として、相田みつをさんの詩が掲載されていて、話し合いを促すような言葉があることも良いと思いました。以上です。

木島教育長 ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。

(有山委員 挙手)

木島教育長 それでは、有山委員お願いいたします。

有山委員 一つ、よろしいでしょうか。

光文は、思考ツールが充実しているところはとても良いところだと感じました。どの学年の教科書も初めに、「いろいろなやりかたでかんがえてみよう」というものが掲載されています。学年に応じて、思考ツールの種類が載っていて、授業で使うことができる点が良いと思います。そして、「やってみてかんがえよう」というロールプレイについてもツールとして扱えるようになっている点は、とても良いと感じました。

ですが、トータルとして光村の人の持つ心の弱さに寄り添って、子どもと共に道徳を考えていく教科書の作りの光村を、私は推したいと考えています。

木島教育長 ありがとうございます。他に御意見ございますか。

木島教育長 意見がないようでしたら、候補を決めてまいりたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは、小学校用教科書目録の6者の中から候補としたい教科書の発行者名のところで挙手をお願いいたします。

木島教育長 それでは、東京書籍が良いと思う方、挙手をお願いいたします。0票です。教育出版、0票です。光村図書、2票です。日本文教出版、0票です。光文書院、2票です。

馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、結構です。

木島教育長 挙手の結果、光村図書が2票、光文書院が2票ということで、同票となりますので、私の判断で、道徳は「光文書院」を候補とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

木島教育長 それでは異議なしと認め、道徳は「光文書院」を採択候補とすることといたします。

木島教育長 それでは、13種目の候補が出そろいましたので、最終の決を取りたいと思います。13種目の候補について確認をいたします。国語は光村図書、書写は光村図書、社会は教育出版、地図は帝国書院、算数は東京書籍、理科は東京書籍、生活は東京書籍、音楽は教育出版、図画工作は日本文教出版、家庭は東京書籍、保健は学研、英語は東京書籍、道徳は光文書院です。

この教科書で良いと思う方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

木島教育長 ありがとうございます。4票、全員です。馬場委員、よろしいでしょうか。

馬場委員 はい、間違いありません。

木島教育長 それでは、令和6年度使用小学校教科用図書は、国語は光村図書、書写は光村図書、社会は教育出版、地図は帝国書院、算数は東京書籍、理科は東京書籍、生活は東京書籍、音楽は教育出版、図画工作は日本文教出版、家庭は東京書籍、保健は学研、英語は東京書籍、道徳は光文書院に決まりました。

木島教育長 令和6年度使用小学校教科用図書の採択は以上となりますが、全体を通して何か改めて御意見がございますか。

木島教育長 ないようですので、私から今回の小学校の教科書採択を振り返って、一言述べさせていただきます。

木島教育長 来春から小学校で使われる教科書は13種目の教科書が採択の対象になりました。

今回の教科書には、学ぶ内容が詳しく書かれてあり、発展的内容も今まで以上に盛り込まれ、特に2次元コードが配置され、多くの情報が含まれています。さらに、外国語科では、来年度から学習者用のデジタル教科書も導入されます。その結果、教科書が情報過多になっているとも言えるでしょう。

そこで、先生方が、児童の実態に応じて、大事なポイントを取り上げて授業を行うための教材研究がより重要になってきます。

いかに児童に考える力を付けさせるか、豊かな心を育むためにはどんな授業展開が良いのか、先生方同士が活発に意見を交わしていただき、互いに高め合っていたくことを期待しています。

最後にもう1点、「レイマンコントロール」という言葉があります。教育行政や学校運営が、教員など「教育の専門家」だけの判断に偏ることがないように、レイマンである教育委員を通じて、広く社会の常識や住民のニーズを施策に反映させるためです。教育の専門家である方々の御意見を十二分に受け止めつつ、レイマンである教育委員が判断し、採択したことを御理解いただきたいと思います。

木島教育長 それでは、議案第39号については終了いたします。

木島教育長 議案第40号「令和6年度使用中学校教科用図書の採択について」、説明をお願いいたします。

(下斗米課長 挙手)

木島教育長 下斗米教育指導課長、お願いいたします。

下斗米課長 それでは、11ページをお開きください。

提案理由としましては、令和6年度に座間市立中学校で使用する教科用図書について採択いただきたく提案するものでございます。

12ページをお開きください。こちらが採択いただく「令和6年度使用中学校教科

用図書」になります。

なお、補足といたしまして、中学校教科用図書につきましては、5月に承認いただきました座間採択地区教科用図書採択方針に基づき、前年度と同一の教科書を採択いただきます。また、教科用図書は、教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条の規定に基づき、種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は4年とされています。中学校の教科用図書は、令和2年度が採択年度でしたので、令和3年度から令和6年度までが採択期間になります。

説明は以上です。

木島教育長 ありがとうございます。ただいまの件につきまして、御質問等ございますか。

木島教育長 御質問等もないようですので、議案第40号は承認することよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

木島教育長 御異議等ないので、議案第40号は承認いたします。

木島教育長 続きまして、議案第41号「令和6年度使用特別支援学級用教科用図書の採択について」、説明をお願いいたします。

(下斗米課長 挙手)

木島教育長 下斗米教育指導課長、お願いいたします。

下斗米課長 それでは、13ページをお開きください。

提案理由としましては、令和6年度に特別支援学級で使用する文部科学省著作教科書及び一般図書について採択いただきたく提案するものでございます。

補足としましては、特別支援学級用の教科書ですが、毎年変わるものですので、毎年採択について議決を求めさせていただいております。特別支援学級では、教科書以外の図書を使用することが認められています。別添資料を御覧ください。別添3「特別支援学校用(小・中学部)教科書目録(令和6年度使用)」と、別添4「令和6年度使用一般図書一覧」です。

特別支援学級で小学校・中学校用教科書以外の図書を使う場合は、これらの教科書や図書の中から使用することになります。そこで、令和6年度特別支援学級の教科用図書として、別添3及び別添4に掲載されている図書を一括して採択することを提案

いたします。

説明は以上です。

木島教育長 ありがとうございます。ただいまの件につきまして、御質問等ございますか。

木島教育長 御質問等もないようですので、議案第41号は承認することよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

木島教育長 御異議等ないので、議案第41号は承認いたします。

木島教育長 本日、公開の案件は以上です。

ここからは、非公開案件の審議に移ります。

恐れ入りますが、傍聴人の方は暫時退席をお願いいたします。

(傍聴人全員が退出、以降は傍聴人なし)

(議案第36号「座間市教育委員会職員の人事について」、第37号「座間市教育委員会職員の人事について」、及び第38号「座間市学校運営協議会委員の任命について」、並びに報告第9号「県費負担教職員の任用について」は非公開)

木島教育長 本日の案件は以上です。

その他、会議の中で取り上げたいことはございますか。

木島教育長 よろしいでしょうか。

それでは、次回の定例会は令和5年8月16日(水)午前9時30分から教育委員会室で開催いたします。

以上で座間市教育委員会7月定例会を閉じさせていただきます。